

事業所名

ピースヒルみらい

支援プログラム

作成日

6年

11月

1日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|-----|---------|---------|--|--|
| 法人（事業所）理念 | | 私たちは利用者、職員一人ひとりをかけがえのない存在として大切にします | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> 大切な存在を預ける不安を安心に変えられるよう、保護者に寄り添う支援を目指す 我々は専門家。大変な時こそ誇りと自信を持って取り組む 鏡の法則を忘れずに。困った時こそ笑顔で周囲を明るくしていこう | | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 18時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 日々の通学、定期的に通所ができるよう生活リズムを整える。 ストレスを感じないよう表情や行動に注視しながら寄り添う。 定時の検温や必要時の服薬管理を確実にし健康管理に気をつける。 年に3回以上の防災訓練を行い、命を守る行動ができるよう支援していく。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 身体を動かす活動を取り入れ、日常動作をスムーズできるよう取り組む。 畑で土や水に触れ、野菜の栽培体験を行う。 それぞれの感覚に合わせて活動を計画していく。 工作などを取り入れ、様々な道具を使用できるよう支援していく。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 曜日や時間を意識して行動できるよう声掛け支援していく。 野菜の収穫や調理、食事提供を行い、偏食や食事マナーの指導を行う。 それぞれのこだわりに合わせて空間を考えながら支援を行う。 パズルや粘土、スライム遊びなどを取り入れ感覚を育てる。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ことば、ジェスチャー、絵カードなどを使用し他者とのコミュニケーションを積極的に取り組んでいけるよう支援していく。 不安定時は職員と1対1の空間を作り気持ちを伝えられるよう支援していく。 それぞれに合わせた読み書き、指差し等の活動を取り入れる。 始まりの会や帰りの会を行い、集団の中で発言ができるように、また他者が発言していたら聞くことができるよう支援していく。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 買い物体験や公園遊びなどの戸外活動で施設外の方々と交流を図り、社会性を身につける。 他者と協力して取り組む活動を通して仲間意識を育てる。 他者との距離、特に異性との距離を考え行動できるよう声掛けを行い支援していく。 日替わりで当番を決め、役割を意識して行動できるよう支援していく。 | | | | | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流機会の提供。 日々の活動の様子を写真付きで配信し、施設への理解を深めていく。 困りごとなどの相談はいつでも受け付ける。 | | | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 進路、移行先の選択のため情報提供や援助を行う。 併用事業所や学校と情報交換を行い、支援の統一を目指す。 | |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> 併用事業所や学校と情報を共有し、スムーズで安全な引き渡しを行う。 地域住人の方々への挨拶を定期的に行い、施設への理解を深める。 多くの方へ理解増進のためHP等で発信を行う。（プライバシーは配慮する） | | | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> 社協が開催する研修会へ積極的に参加していく。 虐待防止、身体拘束等の内部研修を年に2回以上行う。 | |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> なつまつり、クリスマス会、ハロウィン等季節のイベント。 周年イベント（法人合同）。 参観日 | | | | | | |